

OJ-13Nジブクレーン概要

主な特長

1. 小型機の解体機としての機能を考慮

小型機の解体を想定し最大定格荷重を1.1tに設定
 人力解体の負担を考慮し最大解体重量は90kg以下

2. マスト・ジブの自力折り畳み機構の採用

組立・解体はマスト・ジブの折りたたみ機構により全て自力で達成

3. 様々な設置方法に対応

基礎を必要とせず設置可能（アウトリガー方式）
 アウトリガーを使用せず仮設受梁に設置可能
 ゴンドラレールに走行台車仕様にて設置可能

4. リニューアル工事の揚重に最適

組立・解体時にエレベータに積載可能

5. 制御方式を全てインバーター化

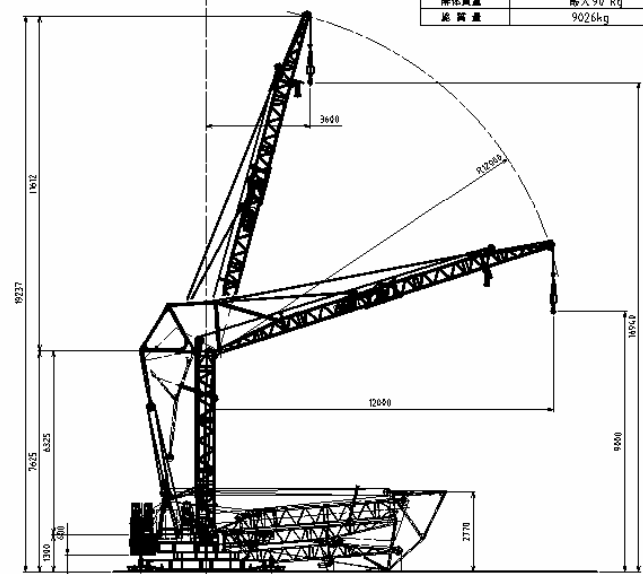
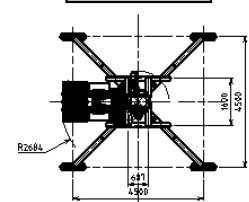
巻上、起伏、旋回の制御方式を全てインバーター化
 調整時間の短縮を含めメンテナンス費用の低減が可能

6. 荷重表示付のコントローラー

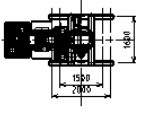
コントローラーにデジタル荷重計を装備し吊荷重を確認しながらの安全作業

仕様表	
定格荷重	10.78 KN (1100 kg)
作業半径	12~3.6 m
機 種	250 m
巻 上	0.47/0.83m/sec (75/50m/min) 11/0t
起 伏	100 sec
旋 回	0.04rad/sec (0.44rpm)
ジブ延伸	50t 14.5sec 0.9t 120 sec
巻 上	2x 3.7kw 4P インバーター
起 伏	2x 1.5kw 4P インバーター
旋 回	0.4kw 4P インバーター
ジブ延伸	0.75kw 4P インバーター
安全装置	過荷重制限 過巻上制限 起伏制限 旋回制限 ジブ延伸制限
操作方式	有線レバー操作
電 源	200/220v 50/60 HZ
解体質量	最大90 kg
総 質 量	9026kg

アウトリガー外形寸法

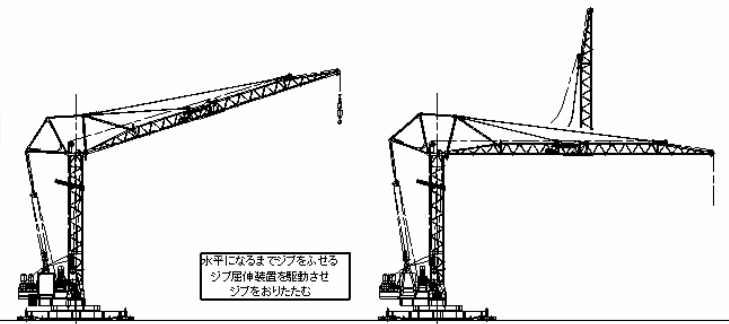


作業停止時



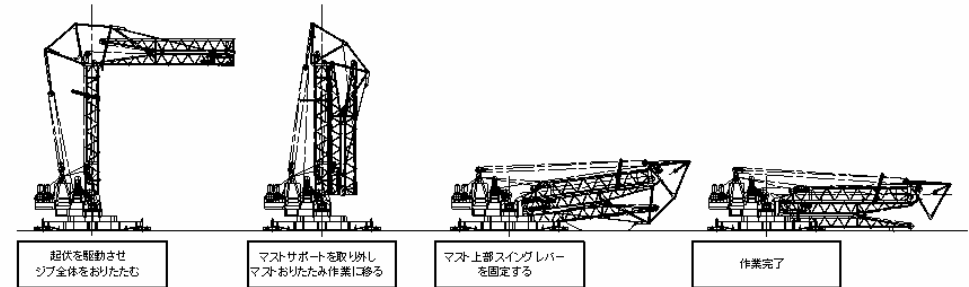
仮設受梁設置寸法

自己組立/解体機構



ジブを最大半径まで伏せる
巻上を駆動させ
フックを巻き上げる

水平になるまでジブをふせる
ジブ延伸装置を駆動させ
ジブをおりたたむ



起伏を駆動させ
ジブ全体をおりたたむ

マストサポートを取り外し
マストおりたたみ作業に移る

マスト上部スイングバー
を固定する

作業完了

OJ-13Nジブクレーン概要

主な特長

1. 小型機の解体機としての機能を考慮

小型機の解体を想定し最大定格荷重を1.1tに設定
人力解体の負担を考慮し最大解体重量は90kg以下

2. マスト・ジブの自力折り畳み機構の採用

組立・解体はマスト・ジブのおりたたみ機構により全て自力で達成

3. 様々な設置方法に対応

基礎を必要とせずに設置可能（アウトリガー方式）
アウトリガーを使用せず仮設受梁に設置可能
ゴンドラレールに走行台車仕様にて設置可能

4. リニューアル工事の揚重に最適

組立・解体時にエレベータに積載可能

5. 制御方式を全てインバーター化

巻上、起伏、旋回の制御方式を全てインバーター化
調整時間の短縮を含めメンテナンス費用の低減が可能

6. 荷重表示付のコントローラー

コントローラーにデジタル荷重計を装備し吊荷重を確認しながらの安全作業